

## 2017年における交通死亡事故の発生状況

～高速道路上の停止車両への追突事故が多発しています～

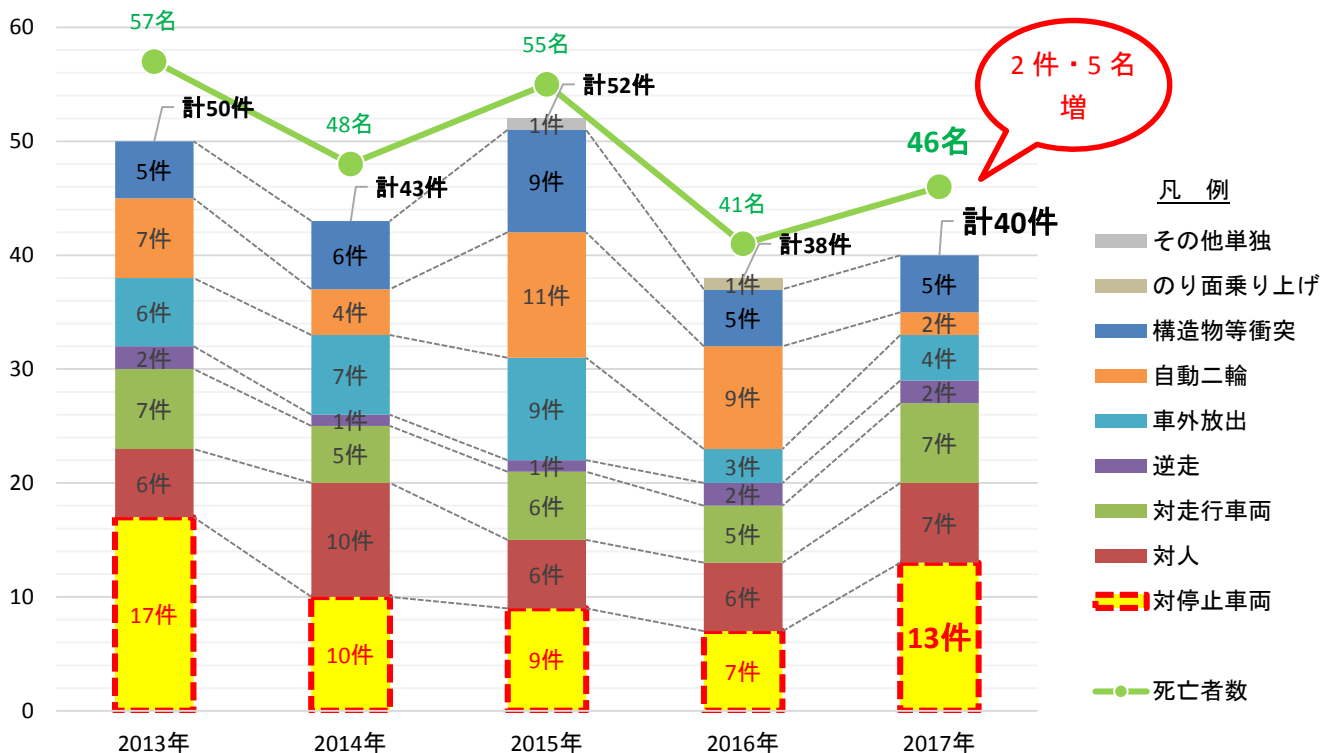
中日本高速道路株式会社が管理する高速道路において、2017年1月1日から12月31日までに40件の交通死亡事故が発生し、46名の尊い命が失われました（2016年比2件・5名増）。

2017年に発生した交通死亡事故の特徴としては、高速道路上に停止していた車両に追突する形態の事故が13件に上ったことが挙げられます【図1】。

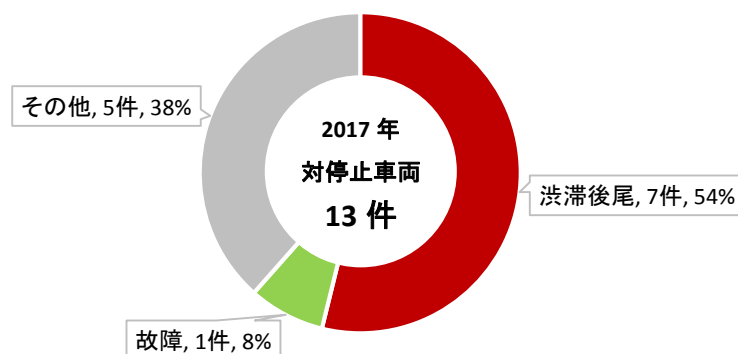
そのうち、渋滞後尾で停止していた車両への追突事故が7件と多発している状況であるほか、故障による停止車両への追突事故も1件発生しています【図2】。

万が一、事故や故障等で高速道路上にやむを得ず停止した際には、本線や車内に残らず、自車より後方のガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所へ足元に注意しながら避難し、通報していただきますようお願いいたします。

また、渋滞を発見し、減速・停止する場合は、ハザードランプの点灯などで後続の車両に合図し、前後の車両との距離に注意して運転していただきますようお願いいたします。



【図1】交通死亡事故発生状況の推移及び年別形態別件数内訳（※当社調べ）



【図2】2017年 対停止車両死亡事故 停止状況別件数内訳（※当社調べ）